

職場の怒りを団結の力へ

2003年3月20日のイラク侵略戦争開戦から5年、ブッシュはいまなお無数の空爆でイラクの労働者を虐殺し続けている！ 福田は全世界の反対の声を踏みにじて海上自衛隊を再びインド洋に派兵した。対テロ給油新法の強行成立は絶対に許せない。資本家のもうけのためにガソリンが高騰し、多くの労働者が生活に困り、倒産企業が増えている一方で、福田は給油新法で米軍に燃料を無料提供するというのだ。さらに福田は通常国会で改憲と自衛隊派兵恒久法の制定に言及している。絶対に許すことはできない！

全世界の闘いで、この不正義のイラク侵略戦争をなんとしても止めよう。そのためにも、私たち労働者の団結をさらに打ち固めることです。労働者の団結こそが唯一戦争をとめる力です。

●労働者を貧困と戦争にたたき込んで生き延びる資本家たちを倒せ

ブッシュや福田が殺しているのはイラクの労働者だけではない。自国の労働者から徹底的に搾取し、収奪する攻撃とイラク侵略戦争は一体です。資本家が国内の労働者を徹底的にこき使い、命さえも奪っている現実まさに「階級戦争」です。敵はひとつであり、帝国主義に対する労働者の怒りは全世界共通です。

いま、世界同時株安がおこり、世界金融恐慌の危機が叫ばれています。発端となったサブプライムローンとは、アメリカの貧困層の労働者に、最初だけ低金利で住宅を売りつけ、膨大な借金を背負わせてぼろもうけするという詐欺同然のやり方です。こんなふざけた話はない！ 今年末までに、高額のローンを支払えなくなった200万世帯が住宅から追い出され、路頭に放り出されようとしている。資本家たちの搾取と戦争という飽くなき利潤追求が社会を荒廃させていることへの怒りが爆発している。日本の私たちも怒っている！ 私たち青年労働者は安定した職も住むところさえも奪われた。一方でトヨタの奥田やキャノンの御手洗、グッドウィルの折口ら資本家連中は、偽装請負で労働者をこき使いピンはねし、徹底的にもうけているのだ！

●労働者こそ社会の主人公！ 団結すれば勝てる！

福田も御手洗も労働者が怒って立ち上がっていることに恐怖している。だから「企業は労使の運命共同体だ」と言い、組合の解体と労働者の団結破壊に必死なのです。なにが「運命共同体」か。これだけ資本家と労働者の格差が広がり、労働者は食っていけない状態に叩き込まれているのに！ しかし、連合中央執行部は「企業は労使の運命共同体という認識を否定するつもりはない」と言って組合員を資本家に差し出し、戦前のような「産業報国会」に自ら進んでなろうとしている。この腐りきった組合幹部たちこそ、労働者を労働強化と戦争に引きずり込む張本人だ！ この資本の手先たちを倒し、労働組合を闘う組合に作り変えよう。

実際に職場を動かし、社会を動かしているのは私たち労働者です。労働者が職場を握り団結すれば、資本家なしで生きていける。労働者が競争と分断を打ち破り、労働者としてひとつになれば、鉄道を、工場を、病院を、あらゆる職場を労働者のために動かし、社会を成り立たせることができる。団結を広げて闘おう。どんな職場でも、闘う労働者が一人いれば大きな労働者の決起を実現できます。



革命を掲げてデモする青年・学生のデモ
＝昨年11月東京・銀座

●「4大産別」を戦争阻止の拠点に。「日の丸・君が代」不起立の闘いに続こう

戦争は「役場と学校」から始まると言われています。教育・自治体の職場が戦争の拠点になるのか、戦争を阻止する拠点になるのかは決定的です。自治労100万、日教組30万が、さらに全国の国鉄（JR）、郵政をあわせた「4大産別」の組合が闘いの拠点になれば、全国一斉ゼネストをも展望することができるのです。9・29沖縄の12万労働者の組織化の中心に座ったのも、沖縄高教組3000人の団結でした。

3月卒業式で、「日の丸・君が代」強制にクビをかけて抵抗する東京の根津さんら全国の教育労働者の闘いは、戦争協力拒否の職場闘争です。絶対に勝利させよう。国鉄分割・民営化による組合破壊・大リストラの攻撃を団結の力でうち破って勝利してきた国鉄千葉動力車労働組合（動労千葉）の闘いに今こそ続こう。自分の職場で、地域で、4大産別組合で、戦争をとめ社会を変える団結をつくりだそう。その力で3・16に全国、全世界の仲間とともに、巨大なデモを巻き起こそう！